

文書管理通信

No.1 創刊号

平成4年

3月

「文書管理通信」創刊にあたって

私どもは、永年にわたってマイクロフィルムを中心に官公庁の保存文書管理にかかわらせていただいで参りました。

このなかで近年切実に感じておりますのは、官公庁におけるいわゆる「文書管理」の現状でのシステムが、行政事務への迅速な情報提供の要求や情報公開の開始、公文書館構想などといった文書情報を巡る新しい流れの中で、今日、システムとしての根本的な見直しを迫られているのではないかということであります。

私どもの業務に関連して文書管理に携わる皆様から寄せられるご質問やご要望は、過去にはマイクロフィルムについての法的証拠能力や保存性能、撮影仕様などについてのものがほとんどでしたが、ここ数年来、情報公開や公文書館計画等も含めた他の自治体での「文書管理システム」についての新しい試みの実例やこれについての資料提供である場合が過半を占める傾向に変わってきております。

このことは、既に申し上げたように「文書管理システム」の再検討が差し迫った課題となりつつあることを示すとともに、少なくとも現在までのところ、新たに構築すべき「文書管理システム」の具体的な姿・形を総合的に提示する者がおそらくは存在せず、新たなシステムの構築に向けてむしろきわめて部分的、経験的な模索が各地において行われているという状況そのものを示唆しているように思われます。

この様な状況下では、過去の関連文献はともかく、本当に必要であると思われる現在進行中の「文書管理」上の試みや実験についての資料や情報は容易に収集できるものではありません。

「文書管理通信」は、このような状況の中での皆様方からのご要望に対し、従来充分にはご提供することができなかった関連情報を継続的かつ専門に収集し提供させていただくことを目的として発刊されます。さらに言えば、このような情報収集の努力によって、皆様方とともに「新たな文書管理システム」のあるべき姿の一端にでも迫ることができればと念じておる次第であります。

当面の情報収集と提供は、正規流通経路で入手可能な定期刊行物（雑誌、新聞）、公刊本の掲載記事についての紹介を中心に進めますが、号を重ねる中でむしろ公刊物になりにくい生の実務情報をより多く収集掲載して参りたいと考えております。

ここで言う「生の実務情報」とは、皆様方のオフィスで現在進行中の文書管理に関する試みや実験の経過やその成果についての情報であります。当然ながら私どもみでの収集には限界があります。これにつきましては、「文書管理通信」を私どもと皆様方の双方向の「通信」として位置づけ、皆様方からのお便り、ご意見、情報を多数お寄せいただき、私ども編集部取材記事とともに随時掲載させていただくことで高い捕捉率での情報収集が可能となると考えております。

「文書管理通信」発刊にあたり、求められる「新たな文書管理システム」について皆様方と共に考え続ける情報誌として、是非とも皆様方のご支持とご支援を頂戴致したくお願い申し上げます。

株式会社 工業複写センター

取締役 渡 辺 秀 博

(「文書管理通信」発行人)

本誌の構成について

本誌は次の5つのコーナーで構成されています。

1. 新刊案内コーナー
2. インフォメーションコーナー
3. 書評コーナー
4. 雑誌コーナー
5. 新聞コーナー

今回は創刊号ということで掲載することが出来ませんでした。今後は、皆様からのご意見、御感想を掲載させて頂く「お便りコーナー」（題未定）も前記の5つのコーナーに加えた6つのコーナーで構成していく予定です。

そして、これらのコーナーは、活字からの情報、実際に見聞きした情報、皆様から頂いた情報の3種類の情報に分けることが出来ます。特にこの中で重視しているのが「実際に見聞きした情報で、これに該当するコーナーが「インフォメーションコーナー」です。

今回はそれぞれのコーナーの紹介に紙面をさきました。通常の記事を掲載できなかった分、創刊号ならではの企画もあります。

更に、「こんなコーナーはどうだろうか」という御提案もお待ちしております。

新刊案内コーナー

このコーナーは「文書管理」に関する新刊を紹介するコーナーです。対象とする本の条件は以下の3点です。

- ①文書管理に関する新刊であると思われるものであること
- ②実際に文書管理を担当している方にとって有益であること
- ③比較的入手が容易であること

以上の条件に該当する本の書名・著编者・出版社及びその連絡先・発行日・判型・頁数・定価をご案内します。

なお、1日100冊以上もの本が刊行されている現在、日本全国で刊行された文書管理に関する本をすべて捜し出すことは困難を極めます。より完全な情報を提供させて頂けるよう努力致しますが、皆様が得られた情報をお寄せ頂ければ幸いです。

インフォメーションコーナー

このコーナーは、静岡県内にとどまらず全国の官公庁で試みられている文書管理の実例、経過やその成果、また情報公開あるいは文書館構想に関する情報等を、いち早く皆様にお知らせするコーナーです。しかしながら私どもの情報だけでは限りがあります。皆様からお寄せ頂いた情報をもとに、私どもが直接皆様のところへお伺いし、取材記事として掲載してまいりたいと考えております。ご協力お願い致します。

そしてこのコーナーをお互いの「情報通信の場」としてご利用して頂き、「新たな文書管理システム」のより良い方向を見いだせる手だてとなれば幸いです。お便り、ご意見、お待ちしております。

書評コーナー

このコーナーは、既に刊行されている文書管理に関する単行本の中から価値あるものを選択し、その書評（2人制）を掲載するコーナーです。対象は現在、以下の16冊を予定しておりますが、それ以外にも見つかり次第（新刊を含む）前述の16冊に加えていきたいと考えております。また、皆様からの情報もお待ちしております。

今回は、その第1回目として特別に先に挙げた16冊をご紹介します。

『ファイリングの実務』

東政雄 (91/6・B5判・387P・3800円)
テクノシステム 〒101 東京都千代田区神田錦町3-11
熊園ビル TEL03(3293)3105

1. 企業と情報
2. ファイルの歴史とエピソード
3. ファイリングの5W1H
4. パーチカル・ファイリングシステム
5. 文書の貸出
6. ファイル系のファイル手続き
7. 受発信の手続き
8. どうファイルをまとめたらよいか
9. 文書の保管、保存、廃棄
10. ファイリング導入の手順
11. 一般文書以外の書類の整理
12. ファイリング・システム導入のメリット
13. チェック・リストの利用
付表

『ファイリングシステムの実際 第2版 〈有斐閣ビジネス37〉』

イトーキファイリング研究室 (91/1・B6判・1700円)
有斐閣 〒101 東京都千代田区神田神保町2-17 TEL03<3264>1311

1. ニューオフィスとファイリング
2. 文書管理の現状
3. 文書廃棄の必要性
4. ファイリング・システムの導入事例
5. ファイリング・システムのしくみ
6. ファイリング・システムの導入手順
7. ファイリング・システムの維持・管理
8. 企業内資料センターのあり方
9. OA機器を活用したファイリング・システム
10. レスパー・ファイリング・システムと自動化ファイリング・システム
11. ペーパーレス化への動き

『ビジネス文書のファイリング技術』

—これが書類・資料の実践的管理ノウハウだノ—
〈PHPビジネス選書〉』
中西勝彦 (90/12・B6判・190P・1150円)
PHP研究所 〒102 東京都千代田区3番丁3-10
TEL03-3239-6221

- 第1章 ファイリングの基礎知識
- 第2章 ファイリング用具を使いこなす
- 第3章 実践・ファイリングのすすめ方
- 第4章 組織へのファイリングシステム導入法

『ニュースシソーラス』

新聞情報管理のための用語集'90』

中日新聞本社 (90/11・A4判・本文509P・29800円)
紀伊国屋書店 〒156 東京都世田谷区5-38-1 TEL03-3439-0125

凡例
編集方針
索引語
全体構成
参照指示
シソーラス細則
参考文献

ニュースシソーラス
分野別索引
付録
シソーラスの使い方
分野とその領域範囲
シソーラスと分類表の比較

『増補 事務・文書管理』

中佐古勇、吉田寛治、森貞俊二 (90/4・A5判・269P・1751円)
嵯峨野書院 〒615 京都市西京区下津林中島15-3
TEL075<391>7686

- 第1章 情報
 - 第2章 事務と事務管理
 - 第3章 事務処理の効率化
 - 第4章 情報処理システムの設計
 - 第5章 オフィス・オートメーション
 - 第6章 オフィス・レイアウト
 - 第7章 文書管理—ファイリング・システム—
 - 第8章 資料管理
 - 第9章 資料の分類と目録
 - 第10章 文献検索
- 補遺/研究課題/各章の参考文献/索引

『ファイリングの戦略的再構築

—ニューオフィス時代の考え方と使い方—

富士写真フィルム情報システム部 (90/4・B 6判・198P・1200円)
ダイヤモンド社 〒100-60 東京都千代田区霞が関1-4-2
TEL03<3504>6517

はじめに

- 1 ニューオフィスという考え方
激変するオフィス環境
ニューオフィス運動の実践
焦点となるオフィス情報という切り口
- 2 ファイリングという「方法」
ファイリングとは何か
ファイリング観とファイリング技術の変遷
ニューオフィス時代のファイリング
- 3 カセットファイルの衝撃
カセットファイルの登場
カセットファイルの利用イメージ
オフィスを変えたカセットファイル

おわりに

『課長さん! 私たちはこんなオフィスを求めています —OLたちが書いた情報整理・ファイリング術』

岡村製作所オフィス総合研究所レコードマネジメント室
女性プロジェクトチーム (90/2・B 6判・213P・1200円)
かんき出版 〒102 東京都千代田区麹町4-4 嶋田ビル
TEL03<3262>8011

プロローグ いまままでホントにいい仕事ができますか?

- PART 1 ちょっとした気配りで、オフィスが生まれ変わる!
PART 2 これからの「ファイリングシステム」のつくり方
PART 3 情報のムダをなくす「ファイル用具」の選び方
PART 4 パソコン・ワープロを使いこなそう

エピローグ システムの維持にはチームワークが大切だ

『レスペーパー・電子ファイル時代の新しいファイリング技術』

中西勝彦 (89/7・A 5判・200P・3200円)
日本能率協会マネジメントセンター 〒105 東京都港区芝公園3-1-22
TEL03<3434>6211

- 第1章 ファイリングの現状
- 第2章 情報の収集と伝達の技術
- 第3章 文書作成の新技術
- 第4章 新しい文書ファイリングのルール
- 第5章 ファイリング技術の初歩
- 第6章 使いやすいファイルの選び方
- 第7章 上手なファイルの作り方・使い方
- 第8章 新しいオフィスレイアウト
- 第9章 書庫管理と保存年限
- 第10章 レスペーパーファイリングの基本
- 第11章 電子ファイルのしくみ
- 第12章 マイクロフィルムを見直そう
- 第13章 光ディスクとマイクロフィルムの使い分け
- 第14章 電子ファイルの検索システムの設計方法
- 第15章 電子ファイルの入力作業
- 第16章 これからの電子ファイルの方向

『ニューオフィス/ニューファイリング —どのように光ディスクを利用するか—』

中沢俊一 (89/6・B 6判・228P・1650円)
日刊工業新聞社 〒102 東京都千代田区九段北1-8-10
TEL03-3222-7111

- 第1章 オフィス環境を見直す
- 第2章 紙の発生を見直す
- 第3章 紙文書保管を見直す
- 第4章 レス・ペーパーファイリングへの基本認識
- 第5章 ニューファイリングへ向うための基礎作業
- 第6章 光ディスク利用方法
- 第7章 ニューファイリングへの取組み方
- 第8章 わが国の代表的な光ディスク装置
あとがき

『ニューオフィス時代のファイリング —ボックスファイリングシステムの手法と実践—』

コクヨオフィス研究所 (88/5・A 5判・176P・1250円)
ダイヤモンド社 〒100-60 東京都霞が関1-4-2
TEL03<3504>6517

- 1章 オフィスは人間生活の場
- 2章 ファイリングシステムがオフィスを変える
- 3章 ファイリングシステムを構築する前に
- 4章 ボックスファイリングシステムの導入とその手順
- 5章 ボックスファイリングのためのサポートシステム
- 6章 保存システムを確率するために
- 7章 ファイリングシステムの維持と管理
- 8章 O A機器とファイリングシステム
- 9章 日本紙パルプ商事でのファイリングシステム導入事例
あとがき

『ベストファイリング —すぐ取り出せる整理術—』

テクノドキュメンテーション (87/9・四六判・182P・1030円)
日本生産性本部 〒150 東京都渋谷区渋谷3-1-1
TEL03<3049>1111

- 第1章 ファイリングとは
- 第2章 一般文書ファイリングの事例
- 第3章 資料ファイリングの事例
- 第4章 電子ファイリングの紹介
- 第5章 新しい時代のファイリング

『ニューファイリングの実際
—光ディスクによるシステムづくり—<有斐格ビジネス50>』

中沢俊一 (87/9・B 6判・206P・1545円)
有斐閣 〒101 東京都千代田区神田神保町2-17 TEL03<3264>1311
第1章 ペーパーファイリングの限界と新しい動向
第2章 非紙メディアの利用
第3章 電子ディスク化を前提にする紙の仕分け方
第4章 光ディスクの利用法
第5章 光ディスク装置
あとがき

『地方公共団体の新しい文書管理システムの構築と運用
<O I シリーズ3>』

自治省行政局振興課 (87/6・B 5判・350P・3600円)
自治日報社 〒102 東京都千代田区平河町1-3-7
TEL03<3262>6094

序章 研究の概要
第1章 文書管理の概念と課題
第2章 文書管理システムの構築要件
第3章 文書管理システムの導入と運用
第4章 文書管理システムの運用事例

『OA時代のファイリング』

岡村製作所オフィス (87/2・四六判・224P・1236円)
時事通信社 〒100 東京都千代田区日比谷公園1-3
TEL03<3591>1111

序章
第1章 本社でのファイリング・システム導入の歴史
第2章 ARMSの基本コンセプト
第3章 ARMSの本社での展開
第4章 オフィスの効率化とファイリング・システム
第5章 導入の手順
第6章 導入・定着のための留意点
第7章 ARMSコンピュータ・プログラム
第8章 近未来ファイリング
第9章 ファイリング・システムに関するQ & A
あとがき

『<K・P・Sシリーズ(3)>事務/文書管理』

三沢仁 (87/1・A 5判・224P・1750円)
建帛社 〒112 東京都文京区千石4丁目2番15号
TEL03<3944>2611

第1章 情報の概念
第2章 事務管理
第3章 事務改善
第4章 ビジネス文書
第5章 ビジネス図表
第6章 ファイリングシステム
第7章 資料の整理
第8章 文献調査法
第9章 通信業務
第10章 OA (オフィスオートメーション)

『ドキュメンテーション』

馬場重徳 (77/10・B 5判・本文272P・4000円)
早川書店 〒151 東京都渋谷区笹塚3丁目12-4
TEL03<3378>0590

インタビュー編
I 学生時代—文献との出会い—
II 生活とドキュメンテーション—論理へのアプローチとして—
論文編
I ドキュメンテーションの基本概念
II 情報の収集から蔵書構成まで
III 書誌構造分析と総合索引化

雑誌コーナー

このコーナーでは、文書管理に関する新刊雑誌、及びその情報をご案内します。対象とする雑誌は以下の6誌です。これら6誌の2カ月分の目次、及び必要に応じて記事の要約を掲載していきます。基本的に3月号(本号)には雑誌の1・2月号の情報を掲載する予定ですが雑誌の発行日の関係上12・1月号を掲載するものもあります。

「行政とADP」

(月刊・1日発行 B5判 ¥515)
社団法人 行政情報システム研究所
〒105 東京都港区浜松町2-1-15
SVAX浜松町ビルII
Tel (03) 3488-1678

「情報処理学会論文誌」

(月刊・15日発行 B5判 ¥1,500)
社団法人 情報処理学会
〒106 東京都港区麻布台2-4-2 保科ビル
Tel (03) 3505-0505

「月刊IM」

(月刊・15日発行 B5判 ¥1,030)
社団法人 日本マイクロ写真協会(JMA)
〒101 東京都千代田区鍛冶町1-9-15
第2大河内ビル2F
Tel (03) 3254-4671、4672

「情報の科学と技術」

(月刊・1日発行 B5判 ¥1,287)
社団法人 情報科学技術協会
〒112 東京都文京区小石川2丁目5-7
佐々木ビル内
Tel (03) 3813-3791

「情報管理」

(月刊・1日発行 B5判 ¥927)
(特)日本科学技術情報センター
〒100 東京都千代田区霞が関3-2-5
霞が関ビル
Tel (03) 3581-6411

「地方自治 コンピュータ」

(月刊・1日発行 B5判 ¥720)
財団法人 地方自治情報センター
〒102 東京都千代田区一番町25
Tel (03) 3261-8921

「行政とADP」

Vol. 28 No.1 1992年1月号

新年の抱負—行政のペレストロイカー
〈随想〉今、地方がおもしろい
〈論文〉情報化社会における教育と人材育成
〈動向〉自治体情報化の新しい動向
〈政治・経済を見つめて〉
1992年(平成4年)を予測する
〈システム時評〉
システム開発ツールのすすめ
経済の目(18)
〈国際会議〉諸外国における個人情報保護の動向
〈電子計算機利用に関する技術研究会・研究成果報告⑦〉
データベース周辺技術に関する調査研究
〈連載・都市の中の行政⑦〉
都市化の進行と行政領域の変化
〈パソコン活用講座 第10回〉エディタの活用
〈System's Eye〉
激変する情報環境
NEWSキャビネット
平成3年度刊行「行政とADP」記事・執筆者総索引

Vol. 28 No.2 1992年2月号

〈随筆〉情報化の動き
〈動向〉ビジネス・インテグレーションの潮流～欧米の
行政機関における適用事例を踏まえて～
〈講演〉先端科学技術の進歩と日本の役割～総務庁主催シ
ンポジウム「行政と情報システム」より～
〈セミナー〉東京都庁移転に伴うOA化について
〈政治・経済を見つめて〉
「日本型資本主義」を問い直す
経済の目(19)
〈海外レポート〉EC委における行政通信ネットワークの構築
〈システム時評〉国民は「お客様」です
〈電子計算機利用に関する技術研究会・研究成果報告⑧〉
コンピュータシステムの機能と操作性に関する調査研究
〈連載・都市の中の行政(8)〉国際社会の中の都市と文化
〈報告〉
行政システム研究所主催 第2回国際研修について
〈System's Eye〉
海外旅行に見るシステム
〈パソコン活用講座 第11回〉エディタと個人ファイリング
NEWSキャビネット

「月刊IM」

1992—1月号

〈年頭所感〉
社会的ニーズの多様化に対し期待されるイメージ情報マネ
ジメントの対策を
編集方針を一層明確にしました
〈新年特別座談会〉
激変する「イメージ情報マネジメント」への対応とJMAの将来
像を探る—社団法人日本マイクロ写真協会「ビジョン案」—
〈システム・アプリケーション紹介〉
キャノファイルFenixによる財務諸表等のファイリン
グシステムについて
〈お知らせ〉地価税法に規定された帳簿又は書類などの保
存について
〈ニューIM〉キャノファイル260
〈感光材料の基礎講座〉第1回 マイクロフィルムの管理
と使用方法
〈Q and A〉市県民税課税台帳及び課税資料等のマイク
ロフィルム化に伴う法的証拠能力について(照会)
〈マーケットリサーチ〉第3回 国内発行マイクロ出版物
[全収集]紹介
〈連載読み物〉
第4回 イメージ情報管理システムの動向 第三章(続き)、
第四章メデアの種類と役割
「月刊IM」1991 Vol. 30 主要記事目録
随想 40年の歴史とマイクロフィルムの再発見
ニュース・アラカルト
JMAニュース
編集後記

1992—2月号

〈システム・アプリケーション紹介〉
新宿区立新宿歴史博物館でのマイクロ化事業—資料室から
博物館へ—
〈調査報告〉
JAPAN IM SHOW '90 来場者アンケート集
計の報告
出展各社ブースの状況報告
〈感光材料の基礎講座〉第2回 マイクロフィルムの管理
と使用方法
〈ニューIM〉コダックイメージリンクマイクロイメ
ジャーIM-70
〈特報〉東北大学附属図書館「狩野文庫」のマイクロ化始
まる
〈連載読物〉第5回(最終回) イメージ情報管理システ
ムの動向
第五章COM Replacement(置き換え)の
動き
随想 メデア雑感
ニュース・アラカルト
JMAニュース
編集後記

「情報管理」

Vol 33 No 9 Dec. 1991

講演：企業経営と私
インテリジェント・カンパニーの提唱（上）－企業経営と
情報活用－
企業における情報効果とコンピュータの利用
データベースに関する権利と責任－欧米における最近の動
向から－
情報・ドキュメンテーション国内文献集－1990①
JICST東西南北：CHAIRニュース No34より三
菱重工業㈱における技術情報管理・サービス活動
集会報告
Pin UP
途中下車
海外文献紹介
編集後記

Vol 34 No10 Jan. 1992

新年に想う
講演：事業の国際的展開
データベース・サービスの新展開－日経テレコンBIZの
概要と狙い
続・シンクタンク（1）－我が国の現状分析と平均像
インテリジェント・カンパニーの提唱（下）－インテリジェ
ント・センターの情報活用
講座：役に立つ情報の入手と活用〔第10回〕在日外国人
研究者の欲しい情報筑波在住の外国人研究者の立場から
情報・ドキュメンテーション国内文献集－1990②
ぶろむな－ど：翻訳のための専門用語管理マニュアル
図書紹介
Pin UP
途中下車
JICST通信
海外文献紹介
編集後記

「情報処理学会論文誌」

第32巻 第12号

＜小特集「情報システム」＞
小特集「情報システム」の編集にあたって
経営活動における情報システムの評価事例
システム監査の一実現方法－統制マトリックス法の提案－
ラピッド・プロトタイプングによる情報ネットの検討手法
＜シュミレーション手法＞密結合マルチプロセッサシステ
ムの性能評価に好適なシュミレーションモデルの提案
＜人工知能の基礎理念＞
チェビシェフネットワークによる物体認識法
並列推論ネットワーク：スキーマの表現と並列探索
＜人工知能の応用＞折り紙過程の知識表現とその処理プロ
グラムの作成
＜ヒューマンインターフェース＞日本文の可読性の測度と
表示速度への応用
＜並列処理アーキテクチャ＞
問題が持つ先行関係のみを保証する高速な静的実行順序
制御機構
＜通信の信頼性＞データ通信システムにおける3つの伝送
方式の評価

第33巻 第1号

＜教育＞情報系学科新入生に対する導入計画とそのため
の演習教育環境
＜基礎理論＞左帰属性文法とPrologによるその構文・意味解析
＜自然言語処理＞
Incomplete Stackを用いた並列一般化LRパーザ
PGLRについて
タイプ付き素性構造主動型生成
＜パターン認識＞物体のカラー反射モデル
＜画像・図形処理＞
CSG Ray-casting法のハードウェア化に関する研究－
形状集合演算の一手法－
＜プログラム言語および使用記述言語＞
AND OR 並列論理型言語 ANDOR-IIの並列論理型
言語への変換
＜オペレーティングシステム＞
並列プログラムを対象とした軽量プロセスの実現方式
＜設計技術および設計自動化＞高密度マイクロセルジェネ
レーター MOSAIC
＜通信技術＞情報処理教育のための図形表示システムの表現
＜コンピュータネットワーク＞
パソコンを用いたISDNオーディオグラフィック通信会議
システムの設計

「情報の科学と技術」

4 1 卷 12号 1991.12

〈特集：灰色文献をめぐる今日の問題〉

日本における「灰色文献」の現況

政府資料等普及調査会の活動

NAC S I S作成データベースの海外提供サービス

「灰色文献探偵団」活動状況レビュー

セレンディピターズ ウェイ-野村総合研究所の灰色文献
作法-

富士通における灰色文献へのアプローチ -科学関係会議
情報を中心にして-

米国連邦政府の情報普及制度と最近の動向

英国B L D S Cの灰色文献収集・提供体制

〈韓国の製造業情報管理者及び担当者に対する情報セミナー
実施経過〉

● INFOSTA Forum

● ドクメンテーションの動き

● 書評・新刊紹介

● 文献紹介

● 協会だより

● 編集後記

4 1 卷総目次

「灰色文献」とは極めて限定された読者を想定して製
作され、入手はもちろん存在の確認すら困難な資料の
ことである。(編集部註)

4 2 卷 1号 1992. 1

巻頭言：新年を迎えて

〈特集=光ディスクの活用〉

情報システムにおける光ディスクの活用

光ディスクの可能性と情報システムの未来

光ディスク技術と光ディスクファイリング・システムの展
望

光ディスク技術の現状

電子図書館で求められる画像情報処理-テレマティーク国
際研究所における研究-

電子ディスクの採用と活用への対応-マイナス思考からプ
ラス思考へ-

特許情報資料館における光ファイルの活用

美術館における映像情報の提供の可能性

日立システムプラザ新川崎における技術情報検索システム-

光ディスクファイルシステムの利用-

群馬大学附属図書館における光ディスクの利用-古文書の
保存と資料提供サービス-

連載：情報の探し方① 規格(上)

● INFOSTA Forum

● 日本オンライン情報検索ユーザー会のご紹介

● OUG第54回研究会開催報告

● ドクメンテーションの動き

● 書評・新刊紹介

● 文献紹介

● 協会だより

● 編集後記

「地方自治 コンピュータ」

1991-12月号

〈随想〉地方公共団体電算職員等表彰式に思う
平成3年度「地方公共団体電算職員等表彰式」挙行される
平成3年度地方公共団体電算職員等表彰授賞者
〈特集／電算職員等表彰〉
特別功労者を授賞して
自治体情報化と共に30年
懐かしい思い出
エンドユーザーとなって考えること
共同利用をさらに飛躍して
〈優良市区町村を授賞して〉
総合行政システムをめざして
-将棋の駒といで湯のまち- (天童市企画広報課長)
新しい流れの中に (熊谷市企画部企画課長)
手づくりの行政情報システム構築をめざし
(銚子市企画調整事務管理課長)
情報化の推進に向けて (柏市企画調整部事務管理課主査)
新しいテーマの実現に向けて (綾瀬市事務管理課長)
自然と文化と人を生かした豊かな中核都市
(七尾市総務部長)
半年間での急激な電算自己導入 (珠洲市総務課長)
若者が定着する活力あふれる都市にらさきを目指して
(韭崎市企画調整課長)
機能分担方式による情報誌源の有効利用
(瑞浪市企画調査主査)
総合OA化・地域情報化をめざして-「生涯教育」「地球・
美感・徳育」宣言都市-
(掛川市行政財政部情報管理課長)
情報発信基地・KAMEOKAをめざして
(亀岡市総務部情報管理課長)
行政事務の総合システムをめざして
(長崎市総務部電子計算課長)
総合行政情報システムの構築をめざして
(名護市総務部情報処理課長)
総合行政情報システムをめざして
(秋田県仁賀保町総務課町)
「生まれ・学び・暮らしてみたい創造田園都市」をめざし
て (栃木県上河内村企画課長)
高度情報化社会への総合情報システムの構築 人が動かし
人の和で進むシステム開発
(京都府弥栄町総務課長)
河合町の電算処理 (奈良県河合町総務課長補佐)
小さな町の大きな挑戦 (長崎県多良見町電算課長)
情報化時代への期待と飛躍をめざして
(沖縄県読谷村総務課電算係長)
〈平成3年度「全国都道府県情報管理主管課長会秋季会議」
開かる〉
〈平成3年度「指定都市電子計算事務主管者秋季会議」開かる〉
〈地域情報化レポート〉
和歌山県における生涯学習支援情報システムについて
-和歌山県学習情報提供システムの現状と課題-
調布市における生涯学習支援情報システムについて

〈トピックス〉地方公共団体における電子計算機等利用の概況 (上)
〈時の動き〉
第9回地方公共団体OAフェア雑感
データショウ'91を見て
情報武装を進める新居浜市-第3センターの東予産業創造
センター始動-
〈今日は、〉
上田市総務課です
町田市情報システム課です
〈健康情報〉 小児喘息について
〈まとりくす〉有識主婦
〈情報管理官室からのお知らせ〉
〈地方自治情報センターからのお知らせ〉
入会の御案内
教育研修について
NIPPON-Netからのお知らせ
OAプラザの御案内
OAライブラリ提供の御案内
〈編集後記〉

1992-1月号

〈随想〉1992年の新春を迎えて
〈特集／地域情報化の展望〉
地域情報化の施策の今後の展開
国におけるこれからの地域情報化の推進について (ニュー
メディア・コミュニティ構想)
地域情報化施策の現状と展望
地域情報化における都道府県の役割について
情報化と新しい文化の創造
〈コンピュータ講座〉
情報処理システム監査技術者試験問題の解説 (I)
〈地域情報化レポート〉
羽曳市における「スポーツ施設予約システム」について
公共施設予約抽選システムについて
〈トピックス〉地方公共団体における電子計算機等利用の概況 (下)
〈時の動き〉「地域情報システム」研究開発へ全国広域圏
情報管理連絡協議会、近畿・中四国ブロック会議開催
〈ミニ情報〉VDT作業管理講習会開催
〈今日は!〉
網走市電子計算課です
樺原市電算管理課です
〈健康情報〉禁煙のすすめ
〈まとりくす〉自分らしさ
〈情報管理室からのお知らせ〉
〈地方自治情報センターからのお知らせ〉
教育研修について
NIPPON-Netからのお知らせ
OAプラザの御案内
OAライブラリ提供の御案内
入会の御案内
〈新刊紹介〉情報化の功罪-新しい時代の行政の課題
〈編集後記〉

新聞コーナー

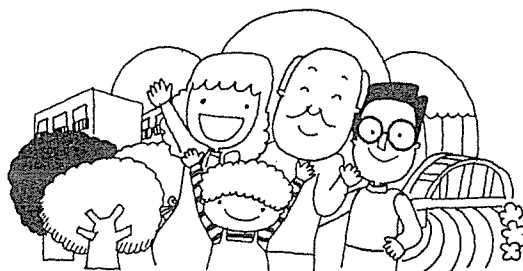
このコーナーでは、皆様が毎日目を通しておられる新聞また普段読むことのないような新聞から、文書管理あるいは情報公開に関するような情報をお知らせします。対象とする新聞は、現在のところ以下の3紙ですが、今後より多くの情報を供給できるよう対象新聞を増やすつもりです。

日経産業新聞 静岡新聞 自治日報

情報公開制度導入へ市民の声

情報公開制度の導入を進めている焼津市は、市民に同制度の理解と認識を深めてもらうため「情報公開懇談会」を設置し、13日初会合を開き制度の概要説明などを行う。

(静岡新聞 1月13日朝刊)



【編集後記】

年度末を迎えなんとなくあわただしさが感じられる3月ですが、寒さも和らぎめっきり春らしくなってきました。

さて、この度「文書管理通信」を刊行するに到り、私どももばたばたと慣れぬ作業の連続でしたが、どうにか発刊するはこびとなりました。今回は、創刊号ということで、各コーナーの紹介と、書評予定の16冊と雑誌の目次紹介というかたちをとりましたが、第2号より“書評”“記事内容(要約)”“事例紹介”“トピックス”等を盛り込みながら充実した誌面をお届け致します。また、文書管理に関する事例ならなんでも結構ですので、編集室までお寄せください。お待ちしております。なお、次回(第2号)は5月1日発行の予定です。

(Y)

創刊号いかがでしたでしょうか。「今、現場で実際にファイリングに携わっている方々にとって何が問題なのだろう? 何が必要なのだろう?」そんなことを考えながら慣れない編集作業にただうろうろ、おろおろしているうちにこんなかたちになりました。今のところこの『文書管理通信』は「ファイリングに関して価値あるものにたどり着くための情報を提供する」という間接的な価値しかもち得ていません。ゆくゆく、この『文書管理通信』自体が直接的な価値をもつようになる日を夢みつつ…。そのためには、情報の一方通行を避け、読者の方々からの情報収集に力を入れていかなければ……。

(M)

発行………1992年3月1日

発行人……渡辺秀博

発行所……株式会社工業複写センター

文書管理通信編集室

〒420 静岡市竜南2丁目11-43

アクト・オムビル

TEL 054-248-4611